

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 137 2011.6.7

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://www.soc.nii.ac.jp/jsei

第27回年会 8月20日(土)～21日(日)

【年会テーマ】教育情報のイノベーション ～デジタル世代をどう導くか～

3月11日の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

そのような時期ではありますが予定通りに、日本教育情報学会第27回年会を、8月20日(土)～21日(日)に十文字学園女子大学(埼玉県新座市)を会場に開催いたします。

本学会では設立当初から、初等中等教育・教師教育に関する実践的研究、教育情報流通システムに関する開発研究、産業教育・専門教育に関する情報研究、社会教育などの分野で研究活動を行ってきました。これらの実践研究の流れを踏まえ、現在では、今日的な教育課題であるデジタル教科書・教材の方向性、デジタル・アーカイブの教育利用や著作権のあり方についての研究も進めております。そこで、本年度の年会において、「教育情報のイノベーションーデジタル世代をどう育てるかー」という大会スローガンを掲げました。また学会の重要な課題として、東日本大震災の災害記録について協議する特別課題を設けました。日本の教育に携わる皆様に夢を持っていただき、次世代をどのように育てていくか、どのように情報を伝えていくかについて会員はじめ参加された皆様とともに議論を深めたいと考えております。是非とも多くの皆様に第27回年会にご参加いただけること、そして有意義な議論がなされることを期待しております。

日本教育情報学会 第27回年会実行委員長
井口磯夫(十文字学園女子大学)

参加申込受付中 事前参加受付期限 8月5日(金)まで

論文提出締切 7月15日(金)必着

日本教育情報学会 第27回年会 開催概要

期 日：2011年8月20日(土)・21日(日)

会 場：十文字学園女子大学

所在地 〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

アクセス JR 新座駅(武蔵野線)より徒歩 8 分

<http://www.jumonji-u.ac.jp/outline/access/index.html>

年会ホームページ：<http://www.jumonji-u.ac.jp/nenkai27/>

後 援：埼玉県教育委員会，東京都教育委員会，新座市教育委員会，和光市教育委員会，朝霞市教育委員会，志木市教育委員会，さいたま市教育委員会，所沢市教育委員会，学習ソフトウェア情報研究センター，日本視聴覚教育協会，パナソニック教育財団

日 程：(時間は予定)

8月20日(土) 【1日目】	
9:30~	受付開始
10:00~	特別課題 『東日本大震災を通して 災害記録を考える』 課題研究 ・初中等教育での学習教育支援・ 実践と情報教育 12:00 ・高等教育の改革と実践及び評価 ・特別支援教育の実践と評価 ・教育資料・教材と図書館の役割 (含む著作権)
12:00~ 13:00	昼食・休憩 (理事会・評議員会)
13:15~ 13:45	総会・学会賞表彰式
14:00~ 15:00	基調講演 『博物館の魅力を高める情報化』 講演者：佐々木正峰 (国立科学博物館顧問，元文化庁長官， 前国立科学博物館館長，学校法人十 文字学園顧問，十文字学園女子大学客員 教授)
15:15~ 17:15	シンポジウム 『学校現場の情報化を どのように推進し支援するか』 コーディネータ：堀田龍也 (玉川大学教職大学院・教授)
17:30~	懇親会

8月21日(日) 【2日目】	
9:30~	受付開始
10:00~	課題研究 ・デジタル・アーカイブの新しい 展開と今後の課題 ・初中等教育での学習教育支援・ 実践と情報教育 12:00 ・高等教育の改革と実践及び評価 ・特別支援教育の実践と評価 ・教師教育・教員研修
12:00~ 13:00	昼食・休憩
13:00~ 13:30	研究会フリートークキング
13:30~ 15:30	課題研究 ・デジタル・アーカイブの新しい 展開と今後の課題 一般研究 ・初中等教育の情報教育 1 ・高等教育の情報教育 1 ・システム開発
15:40~ 17:40	一般研究 ・初中等教育の情報教育 2 ・高等教育の情報教育 2 ・教材開発

※発表会場は，次号 Newsletter でお知らせをいたします。

プログラム・研究発表(今後変更になる場合があります)

基調講演

20日(土) 14:00～15:00

テーマ：博物館の魅力を高める情報化

講演者：佐々木正峰 国立科学博物館顧問，元文化庁長官，前国立科学博物館館長，
学校法人十文字学園顧問，十文字学園女子大学客員教授

情報化が進んだ知識基盤社会では，事実に基づいて考えるとともに，過去・現在・未来を見通す知が重要となる。博物館には，資料の収集・保存，調査研究，展示・学習支援を通じて，社会的課題を考えたり解決したりするのに必要な知を蓄積・研究し，役立つ情報として能動的に発信することが求められている。インターネットやソーシャルメディアを活用した博物館と人々との双方向的な結びつき，データベースやデジタルコンテンツの学習や研究への活用，モバイル機器の活用等，アクセシビリティに配慮した国立科学博物館の活動を紹介する。

シンポジウム

20日(土) 15:15～17:15

コーディネータ：堀田龍也(玉川大学教職大学院・教授)

テーマ：学校現場の情報化をどのように推進し支援するか

パネリスト：堀 達司 広島市立藤の木小学校・校長

河野卓也 滋賀大学教育学部附属中学校・教諭

野中陽一 横浜国立大学教育人間科学部・准教授

スクールニューディール政策により，多くの普通教室に大型提示装置が導入された。文部科学省「学校教育の情報化に関する懇談会」の最終報告である「教育の情報化ビジョン」により，今後数年の学校現場の教育の情報化の方向付けがなされた。総務省「フューチャースクール推進事業」や，教育の情報化を念頭に置いた研究開発学校等により，新しいタイプの教育の情報化が指向されるようになった。

一方，これまで有用な教育情報を配信してきた NICER が廃止になるなど，急速に進む教育の情報化をどのように支援するかが重要な課題となっている。本シンポジウムでは，小学校および中学校の現場で実践研究をリードしてきた学校長および教員，「学校教育の情報化に関する懇談会」の委員を迎え，この数年の教育の情報化の動向を整理し，課題を明確にした上で，期待される学校現場の支援等について検討する。

特別課題 東日本大震災を通して災害記録を考える

20日(土) A会場 10:00～12:00

コーディネータ:佐藤正明(岐阜女子大学)

本セッションは、今回の東日本大震災による地震・津波、原発事故を通して、これら災害・支援・復興に関する状況を映像・文書・オーラルなどで記録し、現在・後世代に伝えるデジタル・アーカイブのあり方について協議します。本学会では、これを重要かつ可及的速やかに取り組む内容として本セッションを特別に設けました。

- 1A1 東日本大震災とデジタルアーカイブ
山口学(国立国会図書館)
- 1A2 教師のためのデジタル・アーカイブ学習カリキュラムの構成
～デジタル教材(教科書等)作成の基礎として～
谷里佐, 後藤忠彦(岐阜女子大学)
- 1A3 東日本大震災における発話分析
加納寛子(山形大学)
- 1A4 災害のデジタル・アーカイブ化のための撮影・記録ガイドラインについて
坂井知志(常磐大学), 佐藤正明, 谷里佐(岐阜女子大学), 林徳治(立命館大学)
- 1A5 東日本大震災の被災地におけるデジタル・アーカイブの課題
～被災地デジタル・アーカイブの課題と今後の災害発生後の災害調査～
佐々木祐輔(岐阜女子大学大学院研究生), 久世均(岐阜女子大学)

課題研究 初中等教育での学習教育支援・実践と情報教育1

20日(土) B会場 10:00～12:00

コーディネータ:小田和美(東京女子体育大学), 金澤勇一(和光市教育委員会),
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校), 飯塚隆(新座市教育委員会)

- 1B1 中学校における「情報科」の構築と実践 ～紙と鉛筆で始める情報教育とICT活用～
安谷元伸, 河野卓也, 澤田一彦(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 1B2 中学・高校情報教育における「科学的理解」の実践方法 ―論理回路学習の実践を通して―
工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校), 本村猛能(群馬大学), 山本利一(埼玉大学)
- 1B3 ファシリテーション能力育成のための校内研修モデルの開発
～学習促進案(facilitation plan for learning)の提案～
武田正則(山形県立寒河江工業高校)
- 1B4 情報活用能力育成 モデルカリキュラム(新情報教育目標リスト)の開発と公開
小田和美(東京女子体育大学), 永野和男(聖心女子大学)
- 1B5 「情報教育の実践・評価のためのポータルサイト」の構築
小田和美(東京女子体育大学), 永野和男(聖心女子大学)

課題研究 高等教育の改革と実践及び評価1

20日(土) C会場 10:00～12:00

コーディネータ:本郷健(大妻女子大学), 本村猛能(群馬大学)

- 1C1 大学初年次生の情報スキルと情報技術に対する意識の分析
安達一寿, 中尾茂子, 北原俊一, 加藤暁子, 風間文明(十文字学園女子大学)

- 1C2 大学初年次生の情報活用の実践力に関する分析
中尾茂子, 安達一寿, 北原俊一, 井口磯夫(十文字学園女子大学)
- 1C3 協調学習におけるグループ編成の研究(1)
FFS 理論を活用した学習者特性と諸条件の関連について
藤本光司(芦屋大学), 福井正康(福山平成大学), 葛崎偉(山口大学),
沖裕貴, 林徳治(立命館大学)
- 1C4 我が国の中・高・大の体系的情報教育の方向性 —諸外国の情報教育の比較研究と評価—
本村猛能(群馬大学), 山本利一(埼玉大学), 工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校),
森山潤(兵庫教育大学大学院), 角和博(佐賀大学)
- 1C5 高等教育におけるピア・サポート制度—立命館大学の事例を中心に—
沖裕貴, 宮浦崇, 林泰子(立命館大学), 井上史子(帝京大学)
- 1C6 産学協同による産業フィールド知識を活かした情報セキュリティ教育の実証と提言
平山敏弘, 長谷川長一(日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)),
やすだなお(サイバー大学), 大西荘一(岡山理科大学),
三木啓一郎, 井川真弓(岡山理科大学大学院生)

課題研究 特別支援教育の実践と評価1

20日(土) D会場 10:00~12:00

コーディネータ: 岩井雄一(十文字学園女子大学), 太田容次(滋賀県立三雲養護学校)

- 1D1 ICT化のより普及を通して知的障害/肢体不自由児童生徒のQOL向上を目指す「系統的に開発した自主教材ソフトによる個別課題アプローチ表」の紹介
小西順(大阪府立堺支援学校)
- 1D2 視線入力装置を活用した障害の重い子の指導
外山世志之(都立光明特別支援学校)
- 1D3 「魔法のふでばこ」プロジェクトの取り組みについて
調整中(都立墨東特別支援学校)
- 1D4 視覚障害者WEB教材作成ソフトの開発と実践
中野亮介(埼玉県立特別支援学校(県立盲学校)塙保己一学園)
- 1D5 知的障害児教育におけるコンピュータ利用調査
佐原恒一郎(千葉県立つくし特別支援学校), 梅谷忠勇(明星大学)
- 1D6 高等学校数学授業モデルの開発と実証 —滋賀県立聾話学校における数学実践事例を通して—
北村光一(岡山理科大学)

課題研究 教育資料・教材と図書館の役割(含む著作権)

20日(土) E会場 10:00~12:00

コーディネータ: 松本直樹(大妻女子大学), 野末俊比古(青山学院大学)

- 1E1 学校図書館図書費の負担変更にもなう影響に関する研究
松本直樹(大妻女子大学)
- 1E2 司書教諭講習科目におけるCMSの活用と課題
今井福司(東京大学大学院)

- 1E3 図書館司書のためのデジタル・アーカイブ講座のカリキュラムの開発
～地域文化資料の教材管理を目的として～
佐藤正明, 加藤真由美(岐阜女子大学)
- 1E4 教材の動的視覚化と電子黒板の活用について
浪平博人(大妻女子大学)
- 1E5 小中学校における著作権等の取り扱いの現状と課題
横山隆光, 和田慎也, 竹中正仁, 大久保佳郎(岐阜県池田町立池田中学校)

課題研究 デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題1 21日(日) A会場 10:00～12:00
コーディネーター: 井上透(国立諫早青少年自然の家), 久世均(岐阜女子大学)

- 2A1 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究
～デジタルアーカイブ手法を活用した教材の開発～
久世均, 齋藤陽子, 松本香奈(岐阜女子大学)
- 2A2 口述記録(オーラル・ヒストリー)の課題
三宅茜巳(岐阜女子大学)
- 2A3 民具資料のデジタル・アーカイブ化 第6報 アイヌ衣服文様のCG化に関する1考察—
皆川雅章, 鶴丸俊明, 臼杵勲(札幌学院大学)
- 2A4 博物館とデジタル・アーカイブの充実
井上透(国立諫早青少年自然の家), 杉長敬治(京都工芸繊維大学)
- 2A5 全国の科学系博物館における学習プログラムの集積とデータベース化に関する実践的研究
有田寛之, 小川義和, 土屋実穂(国立科学博物館)
- 2A6 埋蔵文化財出土情報のデジタル・アーカイブ化に関する実践的研究
黒須亜希子(岐阜女子大学大学院・公益財団法人大阪府文化財センター)

課題研究 初中等教育での学習教育支援・実践と情報教育2 21日(日) B会場 10:00～12:00
コーディネーター: 小田和美(東京女子体育大学), 金澤勇一(和光市教育委員会),
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校), 飯塚隆(新座市教育委員会)

- 2B1 幼児の大画面3DCG体験学習会の報告と今後の課題
吉井直子(奈良女子大学), 高田雅美, 城和貴(奈良女子大学大学院)
- 2B2 小学校におけるICT活用の実践
川上卓哉(世田谷区立八幡小学校)
- 2B3 小学校でのスマートフォンの活用
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校)
- 2B4 RFID レスポンスカードを活用し, 生徒の思考を深める討論学習の工夫
— 社会科(歴史的分野)における授業実践とその考察(その2)—
奥村信夫(守山市立守山中学校), 宮田仁(滋賀大学)
- 2B5 共有フォルダーという条件下でのデジタル教材と指導案の蓄積・共同利用及びダウンロードして利用する場合のインターフェースの研究
小山万作(世田谷区立弦巻小学校)

2B6 squeak e-toys とロボットを用いた論理的思考学習
竹中章勝(滋賀大学教育学研究科), 宮田仁(滋賀大学)

課題研究 高等教育の改革と実践及び評価2

21日(日) C会場 10:00~12:00

コーディネータ: 本郷健(大妻女子大学), 本村猛能(群馬大学)

- 2C1 大学教育におけるネットワーク利用の実践と吟味
木下昭一(聖徳大学)
- 2C2 大学の教育情報化支援におけるピア・サポート体制の現状と課題
ー立命館大学の取り組みを中心にー
宮浦崇(立命館大学)
- 2C3 実践的FDプログラムの成果と課題 ー新任教員を対象としたFD研修を通してー
林泰子(立命館大学), 井上史子(帝京大学), 沖裕貴(立命館大学)
- 2C4 選択コースを取り入れたFDプログラムの開発 ー実践的FDプログラムの活用ー
井上史子, 土持ゲーリー法一(帝京大学), 沖裕貴(立命館大学)
- 2C5 成績分布公表システムを活用した組織的なFD活動の推進についての研究
小川勤, 岡田耕一, 岩部浩三(山口大学)

課題研究 特別支援教育の実践と評価2

21日(日) D会場 10:00~12:00

コーディネータ: 岩井雄一(十文字学園女子大学), 太田容次(滋賀県立三雲養護学校)

- 2D1 携帯電話 Web 掲示板システムによる就労・移行支援ー高等部3年間の生徒の成長を追ってー
大杉成喜(熊本大学), 石部和人(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)
- 2D2 特別支援学校職業学科における軽度知的障害のためのICTを活用した就労支援の取り組み
平澤鋼, 入川智直(都立永福学園)
- 2D3 遠隔教育と学生メンターによる学習支援システム
～学習支援の構築と評価および学生メンターの育成～
齋藤陽子, 久世均(岐阜女子大学), 岩田昌弘(岐阜県教育委員会)
- 2D4 特別支援教育の充実のための情報普及に関する実際研究(4)
ー発達障害教育情報センターの取り組みからー
太田容次(滋賀県立三雲養護学校), 梅田真理, 伊藤由美(国立特別支援教育総合研究所)

課題研究 教師教育・教員研修

21日(日) E会場 10:00~12:00

コーディネータ: 山本利一(埼玉大学), 山下成明(さいたま市教育委員会),
須藤崇夫(浦和第一女子高等学校), 堀口真史(埼玉県立総合教育センター)

- 2E1 プログラムによる計測・制御に関する教員研修内容の提案
山本利一(埼玉大学), 本村猛能(群馬大学), 本郷健(大妻女子大学)
- 2E2 災害発生時における情報伝達手段に関する指導内容の検討
伊藤大河(ジェイアール東海情報システム株式会社), 山本利一(埼玉大学)

- 2E3 学習の研究成果を用いた毎日の学習プリントの作成
～基礎基本的な学習の定着のための教材作成ガイド～
瀬ノ上裕(岐阜女子大学)
- 2E4 子どもが育ち、教員が育つ「浪漫学園」づくり
ー小・中・高・特別支援学校の連携・交流を通してー
服部晃(岐阜女子大学)
- 2E5 入学生の情報リテラシーと情報基礎教育の課題
太田信宏(文教大学)
- 2E6 小学校低学年における縄跳び遊びの授業づくりに関する研究
ー内発的動機付けを高めるため指導者のあり方ー
黒澤邦夫(岐阜女子大学大学院院生), 服部晃(岐阜女子大学)

課題研究 デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題2 コーディネータ: 井上透(国立諫早青少年自然の家), 久世均(岐阜女子大学)	21日(日) A会場 13:30～15:30
---	------------------------

- 3A1 参加型アーカイブモデルによる「おらほ放送局」の活動デザイン
前川道博(長野大学)
- 3A2 沖縄の戦中戦後の子供の視点からのオーラルヒストリーのデジタル・アーカイブ化の課題
眞喜志悦子(岐阜女子大学), 照屋小百合(沖縄教科書研究会), 加治工尚子(岐阜女子大学),
新垣英司(沖縄教科書研究会), 谷里佐, 後藤忠彦(岐阜女子大学)
- 3A3 デジタル・アーカイブ「沖縄修学旅行 おうらい」の開発の課題
長尾順子(沖縄県西原町立西原小学校), 加藤真由美(沖縄教科書研究会),
加治工尚子(岐阜女子大学), 新垣英司(沖縄教科書研究会)
- 3A4 地域文化活動のデジタル・アーカイブの構成方法について
～歴史, 背景, 文化活動, オーラルヒストリー～
加治工尚子(岐阜女子大学), 新垣さき, 新城愛(沖縄教科書研究会)
- 3A5 地域デジタル・アーカイブを用いた小学校社会(3, 4年)資料の活用
～沖縄のデジタル教材(教科書支援)として～
新垣英司(沖縄教科書研究会)

一般研究 初中等教育の情報教育1	21日(日) B会場 13:30～15:30
-------------------------	------------------------

- 3B1 幼児期のエッジ画像における奥行き知覚の特徴と教育現場への一提案
吉井直子(奈良女子大学), 高田雅美, 城和貴(奈良女子大学大学院)
- 3B2 ブランコ運動の解析 ーブランコに上手に乗るにはー
北原俊一, 平田智秋(十文字学園女子大学)
- 3B3 幼児教育におけるWEBサイトの利用
林知代(岐阜女子大学)
- 3B4 日本とタイの中学生の情報リテラシーと情報モラルの問題点
ーパソコンと携帯電話の利用実態からー
宇都宮由佳(大妻女子大学)

- 3B5 ムードルを活用した問題解決学習による生徒の批判的思考態度と学習方略の使用の変化
高納成幸(岐阜女子大学)
- 3B6 電子黒板等 I C T 機器を効果的に活用する指導計画の作成 2
ー中学校理科および数学の目標の達成に向けてー
横山隆光, 西川敏克, 加納由佳里, 長井円覚(岐阜県池田町立池田中学校)
- 3B7 フェアユースが争点となった裁判に見る現状
梅村益美(岐阜女子大学大学院生), 久世均(岐阜女子大学)

一般研究 高等教育の情報教育1

21 日(日) C会場 13:30~15:30

- 3C1 データベースを介した実習相互支援システム. 学生の情報端末及び SNS 使用状況調査.
細戸一佳, 有働玲子, 木下昭一, 沢崎真史, 手島勝朗, 野上遊夏, 森貞美(聖徳大学)
- 3C2 初年次教育における Wiki を用いたライティング指導の試み
西出崇, 宮浦崇(立命館大学)
- 3C3 データベースを介した実習相互支援システム. 実習データベースの試験的運用.
野上遊夏, 有働玲子, 木下昭一, 沢崎真史, 手島勝朗, 細戸一佳, 森貞美(聖徳大学)
- 3C4 留学生の聴解ストラテジーを育てるための学習カリキュラム開発
及川浩和(中日本自動車短期大学), 加藤直樹(岐阜大学)
- 3C5 受講者数の異なる同一科目における教育効果(その 1)ー認知的領域と情意的領域への影響ー
若杉祥太(滋賀大学大学院生), 小柴慶太(株式会社富士通エフサス), 林徳治(立命館大学)
- 3C6 学生のスマートフォン使用に関する意識調査~個人情報保護の観点から~
阿久津毅(昭和学院短期大学)
- 3C7 大学生の Microsoft Office 利用スキルに関する意識と成績との関係の分析
立野貴之(松蔭大学), 加藤由樹(相模女子大学), 加藤尚吾(東京女子大学)
- 3C8 大学生のコミュニケーション能力の改善が主体性におよぼす効果の実証研究(2)
ー接続教育における視点より
藤本光司(芦屋大学), 照田昇(京都市立洛陽工業高等学校), 葛崎偉(山口大学),
林徳治(立命館大学)

一般研究 システム開発

21 日(日) D会場 13:30~15:30

- 3D1 LMS「MOMOTARO」のモバイル対応
井川真弓(岡山理科大学大学院生), 大西荘一(岡山理科大学),
三木啓一郎, 大倉将人, 時岡貴幸(岡山理科大学大学院生)
- 3D2 College Analysis における 3 次元グラフィック出力環境の開発
福井正康(福山平成大学), 石丸敬二(福山大学), 尾崎 誠(福山平成大学)
- 3D3 College Analysis における PERT 学習支援プログラムの開発と検証
石丸敬二(福山大学), 尾崎誠, 福井正康(福山平成大学)
- 3D4 College Analysis におけるフラクタルビューアの開発
尾崎誠(福山平成大学), 石丸敬二(福山大学), 福井正康(福山平成大学)

- 3D5 教育用在庫管理シミュレータの開発
細川光浩, 福井正康(福山平成大学)
- 3D6 LMS「MOMOTARO」ver9の仕様
三木啓一郎(岡山理科大学大学院生), 大西荘一(岡山理科大学),
井川真弓, 大倉将人, 時岡貴幸(岡山理科大学大学院生)
- 3D7 授業行動分析用装置の開発とその活用
安藤久夫(岐阜女子大学), 及川浩和(中日本自動車短期大学), 吉田昌春(元岐阜大学)
- 3D8 3Dモデルによる環境教育を支援するシステム
村瀬孝宏(中京学院大学中京短期大学部), 杉原健一(岐阜経済大学), 周欣欣(名古屋文理大学)

一般研究 初中等教育の情報教育2

21日(日) B会場 15:40~17:40

- 4B1 教科情報における自己効力感を高める授業実践
松田大佑(岐阜大学大学院生), 加藤直樹(岐阜大学)
- 4B2 SNSを活用した教育実習の実践と効果の検証
松本宗久(大阪学院大学高等学校)
- 4B3 中高生のリアルの利用実態に関する比較分析—記事の更新と閲覧者との交流に注目して—
相澤崇(弘前市立第一中学校)
- 4B4 ICTを活用した「ハノイの塔」における問題解決過程の分析
宮田仁(滋賀大学), 三宮真智子(大阪大学大学院)
- 4B5 電子黒板に できること できないこと
上野貴子(東洋英和女学院中高部)
- 4B6 情報教育の指導方法の研究と授業の実践
須藤崇夫(埼玉県立浦和第一女子高等学校), 堀口真史(埼玉県立総合教育センター),
斎藤実(埼玉県立大宮高等学校)
- 4B7 ICTを活用した教室構築と授業実践
竹中章勝(清教学園中・高等学校)

一般研究 高等教育の情報教育2

21日(日) C会場 15:40~17:40

- 4C1 聴き手を意識したプレゼンテーションの設計に関する授業実践
—強制連結法による思考の可視化—
黒川マキ(大阪学院大学), 林徳治(立命館大学)
- 4C2 大学生のコミュニケーション能力の改善が主体性に及ぼす効果の実証研究
林徳治(立命館大学), 黒川マキ(大阪学院大学)
- 4C3 インストラクショナル・デザインによる「情報リテラシー教材」の教育効果について
白川雄三, 中寫康二(大阪学院大学)
- 4C4 学生がコースウェアを作ることを主眼に置いた講義の展開
堀口秀嗣(常磐大学), 前田真人(北海道情報大学),
塩雅之, 北根精美, 町英朋, 石川勝博, 寺島哲平, 星名由美(常磐大学)
- 4C5 心理学科必修科目「心理統計1」でeラーニングを実施した効果
星名由美(常磐大学)

4C6 Moodle を利用した常磐大学 e ラーニングサイトの構築と運用

町英朋, 塩雅之(常磐大学)

4C7 留学生のプレゼンテーションスキルと貢献意識を高めるための取り組み

成瀬喜則, 長山昌子(富山高等専門学校)

一般研究 教材開発

21 日(日) D会場 15:40~17:40

4D1 品質管理学習プログラムの開発

奥田由紀恵, 福井正康(福山平成大学)

4D2 中学生を対象とした情報活用能力を育成する web コンテンツの開発

天井崇人(埼玉大学学生), 山本利一(埼玉大学)

4D3 小学校中学年を対象とした情報モラル Web 教材の開発と評価

陌間智(滋賀大学大学院生), 宮田仁(滋賀大学)

4D4 高等学校における数学授業モデルの提案

北村光一(岡山理科大学)

4D5 中学校技術分野の学習を支援するマルチメディア教材の開発

末永貴之(埼玉大学学生), 山本利一(埼玉大学)

4D6 マルチエージェントプログラミングの作成過程の分析

本郷健(大妻女子大学), 佐野和夫(横浜サイエンスフロンティア高等学校)

4D7 下呂市六所神社天井絵デジタル・アーカイブ

田中恵梨(岐阜女子大学学生), 佐藤正明, 林知代, 三宅茜巳(岐阜女子大学),
粥川恵子, 林成子(岐阜女子大学大学院研究生)

4D8 沖縄の伝統文化(三線)のデジタル・アーカイブ教材の開発の課題

加治工尚子(岐阜女子大学), 大城しずか, 上原奈美(岐阜女子大学大学院院生),
宮里祐光(岐阜女子大学)

発表者の方へ

- ① 発表申込者には、発表の受理連絡をメールで行ないました。申し込みをされた方で受理連絡が届いていない場合、またはプログラムに発表の掲載がない場合は、申し訳ありませんが年会事務局までご連絡下さい。
- ② 発表を受理された申込者は、論文の執筆要項を第 27 回年会 Web サイト (<http://www.jumonji-u.ac.jp/nenkai27/>) からダウンロードし、参照して下さい。
- ③ 論文の原稿枚数は、一般研究については 2 ページ、課題研究については 4 ページとします。原稿は e-mail による添付ファイル (デジタル原稿(pdf)) として、件名に「一般研究原稿送付」「課題研究原稿送付」と記載して、[第 27 回年会論文受付メール \(nenkai@jumonji-u.ac.jp\)](mailto:nenkai@jumonji-u.ac.jp) へお送り下さい。上記形式での送付が難しい場合は、年会事務局までご連絡ください。

論文提出締切 2011 年 7 月 15 日(金) 必着

節電対応の影響で印刷所の稼働スケジュールにより、締切厳守をお願いします。

参加者の方へ（参加申込方法）

同封の郵便振替用紙（払込取扱票）が申込書を兼ねます。必要事項を記入し、郵便局の窓口またはATMなどで手続きください。

同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

【参加申込締切（郵便局窓口期限） 2011年8月5日（金） 厳守】

郵便振替口座番号：00130-3-466636

加入者名：日本教育情報学会年会

（※学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

■参加費	会員（事前申込）	3,000円	
	会員（当日）・非会員	4,000円	
	学生会員	1,500円	※学生会員の方は、会員証か学生証等をお持ちください。

■資料代（論文集） 4,000円 ※参加者の論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします。

■懇親会費 5,000円

◎後援関係の方

後援関係に所属の教職員の参加は無料とします。（※論文集代、懇親会費は申し受けます。）

◎論文集の郵送申込について（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。（4,000円 郵送費・事務諸経費を含む）

宿泊について

宿泊については、各自で手配していただけますようお願いいたします。

年会事務局 お問合せ先

日本教育情報学会 第27回年会実行委員会

十文字学園女子大学 人間生活学部 安達研究室内

TEL 048-260-7657(直通) 048-477-0555(代表)

FAX 048-478-9367(大学代表)

E-mail nenkai@jumonji-u.ac.jp